

論文要旨

氏名	山田 志麻
タイトル (日英併記)	在宅要支援・要介護者における舌圧と栄養素の摂取量の関連 The association between tongue pressure and nutrient intake in adults receiving home care services

論文の要旨（日本語で記載）

【目的】

本横断研究は、要支援または要介護の認定を受け、在宅医療・介護サービスを利用している者（以下「在宅要支援・要介護者」）において、舌圧と栄養素の摂取量と関連を明らかにすることを目的とした。

【対象および方法】

在宅要支援・要介護者 95 名（平均年齢：84.6 歳）を調査対象とした。舌圧測定器を用いて舌圧を測定した。簡易型自記式食事歴法質問票を用いて 5 種の栄養素（たんぱく質、ビタミン D、ビタミン E、ビタミン C、葉酸）の摂取量を求め、先行研究にもとづく基準量および日本人の食事摂取基準（2015 年版）で示された推奨量または目安量をもとに摂取基準に達しているかどうかを評価した。また、舌圧を説明変数、摂取量が基準に達しない栄養素の数の合計数を目的変数としポアソン回帰分析を行った。

【結果】

舌圧が 20kPa 以上の者と比較して、20kPa 未満の者は摂取量が基準に達しない栄養素の数が有意に多かった。すなわち、基準量未満の栄養素の合計数では率比が 1.8（95%信頼区間 = 1.2-2.7）、推奨量または目安量未満の栄養素の合計数では率比が 1.7（95%信頼区間 = 1.2-2.5）であった。

【結論】

本研究結果から、舌圧が低い在宅要支援・要介護者は栄養素が十分に摂取できていない可能性があることが示唆された。